

神様は人間を神様だけ頼り、何の苦しみもないように創造された。しかし、悪魔に騙され罪の中に陥り、悪魔の支配の中で、地獄まで苦しむようになった。悪魔は、人間を 24 時間騙そうとしている。ダビデは、神様だけを信じて、最高の時代になった。しかし、その後、再び偶像を崇拜をするようになった。悪魔が人間に働き、古い枠の中に陥れようとしているからである。悪魔は、神様の子供が古い刻印、根、体質の中で生きるようにさせる。私たちに問題が来るときには、何が原因であるのかを良く考えるべきである。

1.サタンが作った古い枠(発見)	2.ヒゼキヤの宗教改革	3.新しい枠を整える集中	
▲私たちはサタンが作った古い枠を発見するべき。 1)問題の原因－Ⅱ歴代 29:6-7(私たちの父たちが不信の罪を犯し、私たちの神、主の目の前に悪を行ない、この方を捨て去って、その顔を主の御住まいからそむけ、背を向けたからです) (1)ヒゼキヤはなぜ国に問題が来たのかを分かる。 (2)キリスト中心でなく自分中心となった時に、問題が起こるようになる。 (3)不信仰の罪を犯し、全焼の生け贄を献げる事をせず、神様の前で偶像崇拜の罪を犯し続けた事が問題 (4)サタンが作った古い枠がたくさんある。 －自分にある古い枠を発見を出来るように。 2)苦しみ－Ⅱ歴代 29:8-9(主の怒りがユダとエルサレムの上に下り、あなたがたが自分の目で見るとおり、主は彼らを人々のおののき、恐怖、あざけりとされました。見なさい。私たちの父たちは剣に倒れ、そのため、私たちの息子たち、娘たち、妻たちは、とりこになっています) (1)ダビデの子孫達の問題－敵(悪魔)によって攻撃を受けてきた。 (2)悪魔が作った古い枠の中にいることが問題である。 (3)古い枠の中にいると必ず問題が来るようになる。 (4)古い枠を捨てる－古い枠を壊して下さいと祈る。 3)創 3,6,11 (1)創世記 3 章の問題 (2)創世記 6 章－快樂・中毒 (3)創世記 11 章－成功中心 4)伝道が出来ないようにする。 (1)古い枠を持つと自分も苦しいので伝道を出来ない。 (2)古い枠がなくなると伝道運動が起こるようになる。 －災いを止めるようになる。 (3)未信者に向かってキリストを大胆に証する。 (4)サタンが古い枠の中にとどめるようにする。 －キリストによりサタンを打ち砕き、聖霊の力によって古い枠から抜け出す。	▲ヒゼキヤは古い枠を壊す決断をして王になり宗教改革する 1)神殿の浄化の命令－Ⅱ歴代 29:1－5(父祖の神主の宮を聖別し、聖所から忌まわしいものを出してしまいなさい) (1)ヒゼキヤは神殿の中にある偶像を取り除くように命じた－キリスト以外のものは捨てる→単純な人となるように。 2)神殿の浄化－Ⅱ歴代 29:15(彼らは自分の兄弟たちを集め、身を聖別して、主のことばによる王の命令のとおり、主の宮をきよめに来た) (1)神殿は、キリスト・聖徒の心・教会を意味。 (2)キリスト以外の心の中にある間違い思想、偶像を捨てる。 (3)私たちの心がただキリストの中心となるように。 3)いけにえの回復－Ⅱ歴代 29:21(彼は祭司であるアロンの子らに命じて、主の祭壇の上でいけにえをささげさせた) (1)いけにえは、キリストであり、神様への献身を意味。 ①全焼はキリストが完全に犠牲になり、十字架に架かる意味 ②キリストが自分を捧げたように私のものは全て神様のもの 4)讃美と礼拝の回復－Ⅱ歴代 29:30(彼らは喜びつつほめたえた。そして、一同はひざまずき、伏し拝んだ) (1)神様は私たちを礼拝をするために選んで下さった。 (2)神様に私たちの心、考えを捧げるように。 (3)礼拝、伝道中心にする時に全ての答えがくる。 5)過ぎ越しの祭りの回復－Ⅱ歴代 30:1(エルサレムにある主の宮に来て、イスラエルの神、主に過越のいけにえをささげるよう呼びかけた) (1)過ぎ越しの祭りは福音－福音が無い時に問題がくる。 (2)福音を回復－キリストが罪、悪魔、地獄から解放した。 6)各地域の偶像を除き－Ⅱ歴代 31:1(全イスラエルは、ユダの町々に出て行き、石の柱を打ちこわし、アシェラ像を切り落とし、全ユダとベニヤミンの中から、エフライムとマナセの中から、高き所と祭壇を取りこわして、絶ち滅ぼした) (1)各地域で偶像を取り除き礼拝、伝道を出来るようにした。 (2)礼拝・伝道の答え－アッシリヤ軍への勝利(Ⅱ列 19:35) 7)祭司たちを回復－Ⅱ歴代 31:2(祭司とレビ人に、それぞれその奉仕に応じて、おのおのの組ごとに、全焼のいけにえと和解のいけにえをささげさせ、さらに、主の宿営の門で仕え、感謝し、ほめたたえさせた)	▲新しい枠を整えることが霊的な戦いである。私たちの内に働くサタンと戦うことが一番の戦いである。 1)ただキリスト－創 3:15(わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかとにかみつく) (1)サタンを打ち砕いたキリストが私の主人となるように。 (2)イエスキリストの信仰中心である－キリストが全ての問題の解決者 2)ただ神の国－使徒 1:3(イエスは苦しみを受けた後、四十日の間、彼らに現われて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された) (1)キリストに集中するように。 －悪魔はキリストに集中させない。 (2)私たちはサタンと戦う。 －戦おうとするとサタンに勝利する。 (3)霊的に戦おうとすると古い枠が打ち砕かれていくようになる。 3)ただ聖霊充滿－使徒 1:8(聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまでわたしの証人となります) (1)戦う為に力が必要 －聖霊充滿が必要。 (2)福音宣教教会は伝道中心である。 －伝道中心にすると古い枠が崩れる (3)聖霊の力によってこそ成り立つ。 ▲結論:①原色の福音で古い枠を壊す ②霊的戦いをしてサタンの国を崩して神の国を立てる伝道者になる。	

区域地教会(2019 年 9 月 22 日～2019 年 9 月 28 日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「古い枠を壊すヒゼキヤの宗教改革」Ⅱ 歴代 29:1-5

【讚美】 455 主にすがるわれに

【祈り】

①教会の祈りの課題

- ・元旦メッセージ(第 1、2、3 RUTC 実現「古い枠を壊すべき」(Ⅱコリ 5:17)・「新しい枠を整えるべき」(使 9:15)・「霊的に戦う教会(兵士・軍隊)」(エペ 6:10-20)
 - ・3 今日(御言葉、祈り、伝道)、3 弟子(秘密決死隊、レムナントミニストリー、Holy Mason)、3 サミット(霊的サミット、技能サミット、文化サミット)の契約を掴み成就を味わう。
 - ・御国イザヤ牧師に聖霊充滿と 5 つの力が与えられるように。
- ②区域地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
③区域地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム】

【祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄

福音宣教教会 10の祈り題	(1)日本1%福音化（使18：9-10・ローマ16：20） (2)第2の宗教改革（マタ16：16、Iペテ2：9） (3)日本8,000教会（使17：1-3） (4)200地教会（創41：36－38） (5)1,000大学（福音の人材、福音エリート/使19：9-10） (6)伝道(重職者)運動（3弟子/ローマ16章） (7)レムナント運動（イザ6：13 / 3サミット） (8)癒しの運動（使徒19：8-20） (9)日本神学校、東日本神学校と教役者－Ⅱ列6：8—23 (10)世界宣教（マタ24：14、使1：8）	
伝道対象者		
お知らせ	1. 10/1(火)－2(水) 日本大阪伝道集会(柳光洙牧師) 1講:1日(火)19:00 2講:2日(水)9:00 3講:2日(水)11:00 2. 9/26(木)－28(土) 大阪伝道キャンプ 3. 大阪教会堂、磐田教会堂の購入とキリスト保育園の 設備工事、保育士の人材確保のためにお祈りを願います。	
福音宣教教会 主管牧師：御国イザヤ 名古屋市中区栄5丁目23－8／tel:052-238-6003 主日(日曜)1部礼拝 7:00 / 2部礼拝 10:00 / 3部礼拝 12:00		